

第1回 岡山県西部衛生施設組合新ごみ焼却施設事業者選定委員会 議事録

開催日時：令和2年7月22日（水）10：00～11：10

開催場所：笠岡市役所 3階 第1会議室

1 開会

2 委嘱状交付

3 管理者挨拶

岡山県西部衛生施設組合管理者の小林笠岡市長から挨拶をいただいた。

4 委員紹介

川本 克也 教授（岡山大学大学院）

荒井 喜久雄 技術指導部長（公益社団法人全国都市清掃会議）

松浦 良彦 副市長（笠岡市）

猪原 慎太郎 副市長（井原市）

松田 勝久 副市長（浅口市）

内田 二三雄 副町長（里庄町）

山縣 幸洋 副町長（矢掛町）

小田 幸裕 事務局長（岡山県西部衛生施設組合）

5 新ごみ焼却施設事業者選定委員会設置要綱について

選定委員会設置要綱について、全委員にご確認いただいた。

6 新ごみ焼却施設事業者選定委員会の運営について

【決定事項】

- 選定委員会の公開・非公開については、事前に委員長と事務局の協議により決定する。
- 委員会の議事録は摘録とし、委員が確認したものを公開する。
- 委員名は公表する。

7 委員長及び副委員長の選出について

【決定事項】

- 委員長 : 川本 克也 教授 (岡山大学大学院)
- 副委員長 : 荒井 喜久雄 技術指導部長 (公益社団法人全国都市清掃会議)

8 委員長挨拶

川本委員長から挨拶をいただいた。

9 (1) 事業スケジュールについて

【決定事項】

- 事務局案のとおり、本事業を進める。

【質問・回答等】

副委員長 : 建設同意取得のタイミングにより、今後事業を進める上で必要となる事業者選定業務の着手時期が前後するという認識で問題ないか。

事務局 : 問題ない。

委員長 : 建設同意に係る想定スケジュールは、新型コロナウイルスの影響を考慮したものという認識で問題ないか。

事務局 : 問題ない。今後の建設同意に係るスケジュールについては、新型コロナウイルスの影響により地元説明会の開催が遅れる可能性があること、また、地元住民に同意をいただけるまでの期間が不透明であることから、幅をもたせた期間としている。

9 (2) 事業概要について

【質問・回答等】

副委員長 : 新ごみ焼却施設の施設規模は 130t/日との記載があるが、この施設規模は災害廃棄物の処理量を考慮したものか。

事務局 : 災害廃棄物の処理量として、計画処理量の 10%を見込んだ値としている。

委員長 : 施設整備基本方針として 5 項目を設定しているが、5 項目の優先順位は設定しているか。

事務局 : 優先順位は設定していないが、環境への配慮、エネルギー利用 (地元還元施設での余熱利用を含む) 及び災害時の復興拠点としての利用等に重点を置いている。

委員長 : 地元還元施設について、どのような施設とする計画か。

事務局 : 地元還元施設の内容として、温水プール、フィットネス及び温浴施設を整備することを目標に検討を進めている。

【意見等】

副委員長：余熱利用については、余剰電力は売電等を行う予定であること、また、地元還元施設利用も検討していることから、表現を余熱利用方式ではなく熱利用方式としてはどうか。

副委員長：硫黄酸化物の法規制値はK値のみでなく、基準値と比較できるよう濃度換算した値を併記するほうがよい。

委員長：排ガス基準値のうち、窒素酸化物の基準値を50ppmの場合、メーカーによって触媒反応塔の設置に関して考えが異なるため、今後処理方法について検討する必要がある。また、白煙防止装置については、設置するとエネルギー回収率が低下するため、今後総合的に検討する必要がある。

委員：新ごみ焼却施設の建設工事期間を47か月と想定しているが、期間として短いのではないか。建設工事等の期間を確保することを目的とし、実現可能な範囲で事業者選定業務の着手時期を早くし、より早い契約を目指してほしい。

9 (3) その他

【質問・回答等】

副委員長：新ごみ焼却施設建設予定地を見学できる機会はあるか。

事務局：第2回委員会は、現里庄清掃工場の会議室にて開催し、あわせて建設予定地を見学いただきたいと考えている。

委員：第3回以降の委員会開催場所は、どこを予定しているか。

事務局：委員の方の交通面を考え、笠岡市役所を予定している。

10 閉会

以上